



Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

- 4日** 前週末の米雇用統計などが良好な結果となったこともあり、ドルが買われやすい状況が続いた。ドル円には米長期金利の上昇に伴う買いも入り、一時110.16円と昨年12月31日以来の高値を付けた。
- 5日** ドル円は109円台後半での方向感を欠いた動き。トランプ米大統領による一般教書演説を日本時間6日午前に控えて、積極的な売買は手控えられた。
- 6日** トランプ米大統領の一般教書演説が伝わると、ドル円は売りに押される展開となり、一時109.56円まで弱含んだ。もっとも、米10年債入札後には全般ドル買いが進んだこともあり、110円台を回復する場面も見られた。
- 7日** ドル円は全般にドル高が進んだ流れに沿って一時110.09円まで上昇したものの、4日高値の110.16円が意識されると伸び悩んだ。世界的な景気減速懸念にくわえ、米中貿易協議の進展期待が後退したことも相場の重しとなり、一巡後は109.61円まで押し戻された。
- 8日** ドル円は109円台後半で方向感の乏しい動きに。翌週の米中通商協議や米暫定予算案の行方を見極めたいとして大きな方向感が出なかった。
- 総括** 先週のドル円は方向感を欠いた動きとなった。週明け4日には米長期金利の上昇などを支えに110.16円まで上昇する場面があったものの、その後は109円台後半での小動きに終始。アジア市場の多くが旧正月の祝日で不在だったため動意を欠いたほか、110.00円に観測されていたオプションの存在も重しに。米中貿易協議や米政府の財政問題、欧州の景気減速懸念など多数のリスク要因が意識されるなか、積極的に上値を試す展開にはならなかった。

先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値	結果
5日	12:30	火	AUD	RBA政策金利	*	*	1.50%		1.50%	1.50%
5日	24:00	火	USD	ISM非製造業指数	*	1月	57.6	58.0	57.2	56.7
7日	9:00	木	USD	FRB議長講演	*	*	*	*	*	*
7日	21:00	木	GBP	BOE政策金利	*	*	0.75%		0.75%	0.75%
7日	21:00	木	GBP	MPC議事要旨	*	*	*	*	*	*
7日	21:00	木	GBP	インフレレポート	*	*	*	*	*	*
8日	22:30	金	CAD	新規雇用者数	*	1月	0.93万人	0.78万人	0.80万人	6.68万人

一言コメント・・・注目の英中銀イベント「スーパーサズデー」を受けてポンドは売り先行後、急速に買い戻される展開になりました。週末のカナダ雇用統計では雇用者数が予想を大幅に上回りカナダドル買いが強まる場面がありました。

先週の注目された要人発言

- 4日18:29 英保守党・強硬離脱派リーダー・リース・モグ議員「北アイルランドを巡るバックストップなしの離脱案に合意する可能性」 「合意なき離脱は合理的な意思決定」
- 5日02:19 バルニエ英EU離脱・欧州委員会首席交渉官「離脱協定案について再交渉せず」
- 5日09:41 マスター・米クレーブランド連銀総裁「将来のFRBの行動については様子見姿勢を支持」 「景気が予想通りであれば若干金利を引き上げる必要がある」 「景気が予想より弱まれば政策見解の調整も」
- 6日10:33 ロウRBA総裁「現在の政策金利見通しは一段と均衡している」 「労働市場の進展を注意深く監視する」 「政策金利を近く変更する強い根拠は見当たらない」 「次は利上げも利下げもありえる」
- 6日21:16 ペンス米副大統領「新たな政府機関閉鎖がないという保証はできない」
- 7日00:14 ユンケル欧州委員長「離脱協定の再交渉を受け入れられない」 「バックストップは必要」
- 7日21:00 MPC議事要旨「0.75%の政策金利の据え置きを9対0で決定。資産買い入れプログラムの規模の維持を9対0で決定した」
- 7日21:00 BOE四半期ごとの物価報告(インフレレポート)「2019年のGDP見通しは+1.7%から1.2%に下方修正」
- 7日21:39 EU「メイ英首相とユンケル欧州委員長の会談は忍耐を要したが、建設的だった」 「2月末までに再び会談を行う予定」
- 8日00:43 トラスクEU大統領「メイ首相との協議では大きな進展はみられなかった」
- 8日04:19 トランプ米大統領「関税引き上げ期限前に習近平・中国国家主席と会談することはない」

一言コメント・・・英EU首脳会談では大きな進展はありませんでした。引き続きブレグジット関連のニュースには注意が必要です。また、米中貿易協議を巡る不透明感から、米株安につながる場面もあり、米中協議に注目が集まります。

今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
12日	26:45	火	USD	パウエルFRB議長講演	*	*	*	*	*
13日	10:00	水	NZD	RBNZ政策金利	*	*	1.75%		1.75%
13日	22:30	水	USD	CPI	前月比	1月	-0.1%		0.1%
14日	8:50	木	JPY	GDP速報値	年率換算	4Q	-2.5%		1.4%
14日	19:00	木	EUR	GDP改定値	前期比	4Q	0.2%		0.2%
14日	22:30	木	USD	小売売上高	前月比	12月	0.2%		0.1%
14日	22:30	木	USD	PPI	前月比	1月	-0.2%		0.1%

今週の注目は・・・各国GDPやNZ政策金利

GIweekly今週のマーケットポイント [限定版]は

『ひまわりFX WEB/PRO』にログイン後
「マイページ」にてご覧いただけます。

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
 - － 荻野金男
 - － 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
 - － 今井雅人
 - － 越後屋の小言

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。